

## 平成27年度 公益部門事業報告

### (1) 概況

本年度は、宮古港開港400周年という節目の年に当たり客船・帆船・自衛隊艦艇など多くの船が訪れ、また港ではSea級グルメ全国大会など多彩なイベントが各地で繰り広げられるなど宮古港周辺は絶えず賑わっていた。

当協会の事業とすれば、平成24年度より実施している「学ぶ防災」を継続し、約1万9千人の利用客の対応にあたるなどして教育旅行の誘致や来訪するお客様の防災意識の向上にも努めた。

イベントでは、春の浄土ヶ浜祭、9月に秋刀魚づくし、12月には震災後初めて関係機関のご協力をいただき津軽石川で宮古鮭まつりを開催し多くの観光客で賑わった。2月には恒例の宮古毛ガニ祭を実施するなどして当地域への誘客に努め、そして、JR盛岡支社と連携して、盛岡・宮古間に臨時列車を走らせるなどしながら山田線の利用促進にも努めた。

そのほか、夏祭り、秋祭りへの協力や特別枠として宮古市からの支援をいただき県内外でのキャラバン・キャンペーン、マスコミ招待、教育旅行誘致のため首都圏の学校の先生を招待しての現地研修や岩手県立大との連携、冬期には毛ガニを使った宿泊企画を実施するなど各種事業にも積極的に取り組み情報発信や誘客に努めた。

ほかに新里の源兵衛平高原の清掃活動、そして、受入態勢の向上を図るべく宮古もてなし隊を浄土ヶ浜に配置し、観光客の接遇に努めたほか、もてなしプラン事業ではカレンダーの作成やもてなし検定も行い事業を終了した。